

旅の思い出 修学旅行編

みやじマリン学習帳



学校名	
名前	



みやじマリン
宮島水族館

〒739-0534 広島県廿日市市宮島町 10-3
TEL 0839-44-2010 FAX 0829-44-0693
<http://www.miyajima-aqua.jp>



問題は展示水槽（パンフレット①～⑩・海獣・はつこい庵から出題）

・出題数 18 問 30 分（展示説明をよく調べてください）

*○の中へあてはまる文字をカタカナ記入してください

*3択問題（3 つの中から 1 つ選んで、数字に○してください）例：①.2.3.

① 宮島の干潟 1階

日本で、ここ宮島だけに生息するトンボは  です

幼虫（ヤゴ）は、植物のヒトモトスキの根元を住処にしています

干潟は、海の潮が引いた時に広く陸地になる場所で、砂や泥質の平地を言います

海の潮が引いた時を干潮、満ちた時を満潮と言います

自然の海では、1日2回干潮と満潮があります

宮島の干潟には、アマモという海草※が生えています

アマモ場と呼ばれる群生地（たくさん生えているところ）は多くの生物の住処となっています

※海草…日本で30種類が知られています。（アマモなど）花が咲き、種でふえます

海藻…藻の仲間。アオサ・ヒジキ・ワカメ・コンブなど1,500種類が知られています

② 海のめぐみ 「カキ水槽」 1階 2階

カキの仲間は、世界に約（ ）種類が知られています

カキの成体1個で、1時間に（ 0 ）の水を浄化します

カキいかだに吊るされたカキは連ガキまたは垂下連ガキと呼ばれ、小魚たちが集まります

③ 山から海へ 「里山コーナー」 2階

オオサンショウウオは世界最大の [3択 1.魚類 2.爬虫類 3.両生類] です

カブトムシが生息していない都道府県は [3択 1.東京都 2.北海道 3.大阪府] です

宮島水族館では、一年を通してカブトムシを展示しています

外来種のみどりガメ（ミシシippアカミミガメ）の成長力・適応力・繁殖力が勝り、日本の固有種のみどりガメは、生息域を追われ減少しました




生きた化石カブトガニが今の体形になったのは（ 億年前 ）です

カブトガニの仲間は次のうちどれでしょうか？ [3択 1.カニ 2.クモ 3.エビ] です

宮島では、カブトガニは50年ほど見つかりませんでした。近年は、メスが毎年のように確認されています。オスに出会い産卵できることを願っています

④ ⑦ いやしの海「ゆったり水槽」1階 2階

ゆったり水槽は宮島水族館で一番大きな水槽です。瀬戸内海から豊後水道・太平洋へと広がる海の魚類を、約70種1,500点展示しています

2階の水面近くで多く見られる    は、硬いすり鉢状の歯で貝の殻をすり割って食べます。宮島周辺は好物のアサリ養殖が盛んで被害が多発しています

1階の底近くには、宮島水族館で一番大きな魚    がいます
このエイの大きさは、およそ全長3m・体重200kgです

瀬戸内のくじら「スナメリ水槽」1階 2階

スナメリは、瀬戸内海には10,000頭ほどが生息し、宮島周辺でも見ることができる鯨の仲間です。4m未満の鯨を一般にイルカと呼んでいます

体形は丸い頭に尖らない口、（背）が無いのが特徴です

瀬戸内海では主に、イワシ・アジ・コノシロなど魚類を食べています

⑤ 海の神秘 1階 「瀬戸内海の身近な生きもの」

瀬戸内海を代表するクラゲは     です

クラゲのように、遊泳力の少ない、または無い生物を、プランクトンと言います

タコやイカは貝類の仲間です

瀬戸内海に生息するタコやイカの寿命は1年です




⑧ 生きものの中からだと暮らし「衣食住水槽」1階

サンゴ礁には色とりどりの魚たちが多く、群れ（集団）になっていますが、この水槽でも集団行動する魚たちが見られます。魚たちの行動をよく観察しましょう

体色を変化させて周囲に同化させることを擬態と言います

枯葉のような体色や体形から英名リーフフィッシュですが、和名はどれでしょうか

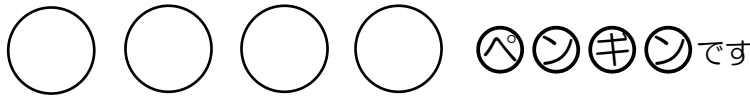
【3択 1.オチパウオ 2.カレハウオ 3.コノハウオ】です

干潟をぴよんぴよん飛び跳ね移動することから    と名が付けました

皮膚呼吸するので水から出ても長く対応することができます

⑨ せとうち研究所 1階

宮島水族館が日本で初めて繁殖に成功したペンギンは、



1993年5月27日に誕生しました

宮島水族館では、さまざまな生物の生態や飼育方法を研究しています

⑩ ふれあいの磯 1階

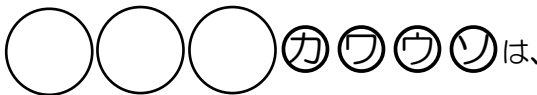
ふれあい生物のうち、ヒトデやナマコは、するどい棘を持つウニの仲間です
(ヒトデとナマコに棘はありません)

⑪ 海獣類エリア 1階 2階

トドはアシカの仲間で一番大きくなります。トドのオスは大きくなると

体長 3m・体重 () (kg) になります

フンボルトペンギンの翼の翼帯(色付き輪)は、ペンギンを見分けるための目印です
飼育スタッフは、翼帯なしでも名前が分かります



カワウソの中ではもっとも小さく、小さな爪があります

☆ 新施設「はつこい庵」

日本の和風文化を取り込んだ施設に色とりどりのニシキゴイやキンギョが優雅に泳いで
います。広島県廿日市市佐伯地域は日本のニシキゴイの生産量が国内第2位で、ヒカリ
ものと呼ばれるウロコが金鱗・銀鱗に輝くニシキゴイが生まれました
はつこい庵にはいろいろな形の水槽があり、つみ重ね水槽・屏風水槽・円柱水槽・

水盤水槽に加え、天井から吊り下がった3つの () (形的水槽) があります

ミナミアメリカオットセイが南アメリカ大陸のウルグアイから来ました。アシカの仲間で、
長い体毛と、ツンと尖った鼻先が特徴です。ミナミアメリカオットセイの名前はサクラと
もう1頭の名前はなにでしょうか [3択 1.ツバキ 2.モミジ 3.カエデ]

☆ 宮島水族館情報

宮島水族館で一番大きな「ゆったり水槽」の水量は 350 t、ガラス(アクリルガラス)の
厚みは 250mm です

宮島水族館でもっとも多く展示している魚はカタクチイワシです。漢字では魚ヘンに弱い
で鱚です。カキいかだ水槽に 3,000 匹のカタクチイワシを展示しています
宮島水族館で好きな生物を 3 つ記入してください

() () ()

お疲れさまでした。問題は以上です またのお越しをお待ちしております

宮島水族館「みやじマリン」施設の紹介

あゆみ

- 1959年（昭和34年）広島県立水族館（水産資源研究所）
- 1967年（昭和42年）広島県から旧宮島町へ移管され宮島水族館としてスタート
- 1981年（昭和56年）7月12日宮島水族館リニューアルオープン
- 1984年（昭和59年）4月29日屋外エリア「ふれあいの磯」オープン
- 1985年（昭和60年）10月12日ラッコ館新設オープン
- 1992年（平成4年）3月14日マンボウ水槽・ペンギンハウス新装オープン
- 2011年（平成23年）8月1日新宮島水族館グランドオープン
- 2021年（令和3年）8月1日新展示施設「はつこい庵」オープン

施設説明

宮島水族館敷地面積：7,218 m²、延床面積：6,020 m²、管理水量：1,872 t、水槽数 86槽
展示生物：380種 15,000点以上

新施設はつこい庵：延床面積：217.31 cm²、展示水槽13槽、展示生物数 20種 3,500点

主な水槽の水量等：

水槽名	水量(t)	水深(m)	ガラス厚み(mm)
宮島の干潟	5	0.6	50
アマモ場	5	1.2	50
カキ水槽	120	5.8	220
ゆったり水槽	350	6.2	250
スナメリ水槽	220	3.6	160
タチウオ水槽	50	3.0	120
びょうぶ水槽	5.8	1.8	50

展示構成（特徴）

宮島、瀬戸内海の自然、特色を伝える展示。生物の行動を体感できる展示。参加・体験機会の提供

※宮島の干潟、スナメリ水槽、カキ水槽、タチウオ水槽、カブトガニ水槽、瀬戸の里山（県内の希少生物）、生き物のからだと暮らしコーナー、ゆったり水槽、ライブプール、はつこい庵、ラボ、学習、体験、体感、夜の水族館、特別展示、バックヤードツアーなど

見どころ

カキ水槽：広島県の代表的な水産業のカキ養殖の様子をまるごと展示。世界でもここだけ!?

ゆったり水槽：瀬戸内海から豊後水道を中心に、日本の海産生物を約70種1,500点展示
いろんな角度から生物を見ることができる

タチウオ水槽：タチウオの幻想的な姿が魅力だが、長期飼育が非常に難しい。通年展示は
新水族館の新たなチャレンジ！

スナメリ水槽：宮島水族館のシンボル。飼育下での三世誕生は、世界初の実績!!

淡水魚水槽：広島県の希少淡水魚を展示。里山と海のつながりを解説

宮島の干潟：およそ30分間隔で瀬戸内海の干満を再現

せとうち研究所：人との「ふれあい」を演出。飼育員が生きものの“なぜ”をやさしく解説

ふれあいの磯：展示プールに入って生きものとふれあえるタッチングプール

カワウソ水槽：生態展示・行動展示の二つの水槽がある。天井の透明パイプには秘密が…

ライブプール：人気のアシカライブを毎日実施。アシカを間近で見られる

フロントステージを設置

はつこい庵：日本的な優雅さや美しさを追求し、お客様にいやしをもたらす

「美の鑑賞空間」を増設

バックヤード紹介

- ・研究室（検査・研究・顕微鏡・薬品庫・資料・貴重標本を保管ほか）
- ・温室（希少生物の保全・繁殖を主に実施）
- ・電気室（水族館電気配電室）・自家発電装置（停電時自動で運転する・自動復旧）
- ・ボイラー室（館内の暖房・大型水槽の加温用）
- ・レクチャールーム（講演・講義・会議・イベントに使用）
- ・企画展示室（特別企画展・イベントなどに使用）
- ・地下室（水族館建物の地下には配管や電気・ポンプ類・ろ過槽・貯水槽などが設置）
- ・屋上（天井窓・冷却用装置・高架水槽≪海水・川の水≫・電気配電盤・電話用アンテナ）
- ・畜養施設（繁殖・畜養・隔離）
- ・救護室（お客様の健康状況により使用）
- ・ボランティア室（宮島水族館ボランティアの活動）

飼育スタッフの業務内容

設備管理（水槽・ろ過槽・循環ポンプ・照明・ブLOWER・冷却機・加温装置）

生物の入手（採集・購入・交換・繁殖・譲受・借用）

展示（生物環境＝水槽サイズ・形状・水質・水温・水流・照明・レイアウト）

維持管理（水槽清掃・ろ過槽清掃・水質検査・餌料づくり・餌やり・健康管理・トレーニング）

清掃方法（潜水・落水・サイホン・スポンジ・ブラシ・タワシなど）

餌料（配合飼料・冷凍魚類・アルテミア・濃縮クロレラ・野菜・貝類・甲殻類）

栄養剤等（各種ビタミン剤・整腸剤・カルシウム剤・栄養添加物）

ろ材（生物ろ過槽用のろ材・淡水生物用の珪砂・南国砂・海産南方系サンゴ砂大小など・

ろ過フィルター各種・ろ過マット各種を使用）

病気 魚類（薬浴・経口投与・殺菌・駆除・淡水海水処置等）

動物（エコー検査・採血・薬剤各種・注射・点滴・カテーテル等）

水質管理（淡水・海水ともに定期的に水質検査を実施して管理している）

水槽管理（毎日水槽確認にて異常が無いチェックする）

社会教育（講座・講演・研修・実習など）

希少生物の保全・保護（環境保全から生物保全・保護・繁殖）

繁殖（各生物の飼育下繁殖）

調査研究（河川・干潟・海産生物などの調査）

イベント（各種イベントの実施）